

令和6年度 シラバス

| | | | | | |
|-------|--|---|--|-----|-----|
| 教 科 | 農 業 | 学科・学年 | 食品デザイン科 第3学年 | 単位数 | 2単位 |
| | | 教科書 | 農業と情報（実教出版） | | |
| 科 目 | 農業と情報 | 副教材 | なし | | |
| 科目の目標 | 農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、農業に関する情報を主体的に活用するために必要な資質・能力を育成する。 | | | | |
| 評価の観点 | 知識・技術【知】 | 思考・判断・表現【思】 | 主体的に学習に取り組む態度【主】 | | |
| 趣 旨 | 学校での学習や実習、産業現場での実習を通して、農業に関する情報等をその目的や条件に合わせて活用できる知識と技術を体系的・系統的に理解している。 | 農業情報の活用について、環境への配慮や法令遵守などの職業人に求められる倫理観をもって思考を深め、科学的な根拠などに基づいて創造的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。 | 農業情報を活用した事例をもとに、環境保全や農林業の持続的発展に果たす意義や役割に関心を持ちながら、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身につけている。 | | |

| 学 期 | 学習内容 | 学習活動・学習のねらい | 評価の観点 | | | 評価規準 | 評価方法 |
|-------|----------------------|--|-------|---|---|--|-----------------------|
| | | | 知 | 思 | 主 | | |
| 一 学 期 | 第3章 コミュニケーションと情報デザイン | ○情報を活用するソフトウェアについて理解させる。 | ○ | | | 農業の各分野での情報を処理活用するためのソフトウェア、OSの役割について理解している。 | ・授業習への取り組み方 |
| | 1 情報表現のためのソフトウェア | ○文書作成ソフトウェアを利用して文書を作成させる。 | | | | | |
| | 2 文書の作成と表現 | ○表計算ソフトウェアを利用してデータの処理とグラフ作成等の視覚化をさせる。 | | | | | |
| 二 学 期 | 3 データの集計と視覚化 | | | ○ | | 農業の各分野での情報を処理・活用し、諸課題の解決を目指して思考を深めている。 | ・ペーパーテスト ・レポート等の提出 |
| | 4 データベースシステムとオープンデータ | ○データベースソフトウェアの特徴と機能を理解し、データを活用させる。 | ○ | | | 農業の各分野で情報を処理・活用するためのソフトウェア、OSの役割とはたらきについて関心を持っている。 | ・各操作の目的の理解 |
| | 5 画像・図形処理ソフトウェアの活用 | ○画像図形処理・動画編集等のソフトウェアを利用して基本的な画像処理・動画編集を行わせる。 | | | ○ | ハードウェアとソフトウェアの相互関係を理解し、画像処理やプレゼンテーションについて理解している。 | ・授業習への取り組み方 |
| 三 学 期 | 6 プレゼンテーション | ○プレゼンテーションソフトウェアを利用して基本的なプレゼンテーションを行わせる。 | | | ○ | 基礎的な知識と技術をもとに合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。 | ・ペーパーテスト ・レポート等の提出 |
| | 7 情報発信 | ○基本的なHTMLのタグを理解し、簡単なWebページを作成させる。 | ○ | | | 実際の農業現場における課題を認識し、情報技術を活用した解決方法について科学的に探究しようとしている。 | ・各操作の目的の理解 |
| | 8 問題解決の方法 | ○問題解決と情報利用の方法、アイデアなどを引き出す技術について理解させる。 | | | ○ | 情報の収集・分析・統合・加工・発信について適切に選択し、活用している。 | ・授業習への取り組み方 |
| | | | | ○ | | 農業学習に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、その過程や結果を適切に表現している。 | ・ペーパーテスト ・レポート等の提出 |
| | | | | ○ | | ・プロジェクト学習に主体的に取り組む、プロジェクト学習における情報処理技術について探求しようとしている。 | ・各操作の目的の理解 |